

```
*****
**                                                                 **
**                               ソフトウェア説明書                **
**                                                                 **
**          Linux (64bit) 版 Systemwalker Operation Manager V17.0.1 体験版          **
**                                                                 **
*****
```

本書は、製品の取扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

■輸出管理規制について

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

■商標について

- ・ Red Hatは、米国およびその他の国において登録されたRed Hat, Inc. の商標です。
- ・ Linux (R) は米国及びその他の国におけるLinus Torvaldsの登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Server、Azureまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ UNIXは、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。
- ・ OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Adobe、Adobeロゴは、Adobe Systems Incorporatedの米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Intel、Itaniumは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- ・ そのほか、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■略語表記について

本書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

Windows (R) 11 Home (x64)
Windows (R) 11 Pro (x64)
Windows (R) 11 Enterprise (x64)

を“Windows(R) 11”と略しています。

Windows(R) 10 Home(x64)

Windows(R) 10 Pro(x64)

Windows(R) 10 Enterprise(x64)

を“Windows(R) 10”と略しています。

Windows Internet Explorer(R)を“Internet Explorer”と略しています。

Windows(R) Operating Systemを“Windows”と略しています。

Windows(R) Operating Systemで動作するSystemwalker Operation Manager

を“Windows版”と表記しています。

Red Hat Enterprise Linuxを“Linux”または“RHEL”と略しています。

Red Hat Enterprise Linuxで動作するSystemwalker Operation Managerを“Linux版”
と表記しています。

Oracle SolarisはSolaris, Solaris Operating System, Solaris OSと記載することが
あります。

Oracle Solarisで動作するSystemwalker Operation Managerを“Solaris版”と表記し
ています。

Solaris、Linux、HP-UX、AIX上で動作するSystemwalker Operation Managerを
“UNIX版”と表記しています。

Systemwalker Operation Managerのエディションで、Standard Editionを“SE”、
Enterprise Editionを“EE”と略しています。

Copyright Fujitsu Limited 1995-2023

■本書の対象製品

本書は、以下の製品に対して共通で記述しています。

- ・Linux(64bit)版 Systemwalker Operation Manager Standard Edition V17.0.1

■本書の構成

本書は、以下の構成で記述しています。

1. 製品概要
 - 1.1 Systemwalker Operation Managerとは
 - 1.2 サーバ機能とは
 - 1.3 クライアント機能とは
 - 1.4 本ソフトウェアについて
2. 構成プログラム
 - 2.1 製品構成
 - 2.2 パッケージ一覧
3. 適用マニュアル
 - 3.1 オンラインマニュアル
 - 3.1.1 マニュアルの参照方法
 - 3.1.2 PDFマニュアルの横断検索方法
 - 3.1.3 参照する際の注意事項
 - 3.2 ソフトウェア技術情報ホームページについて
4. ソフトウェア環境
 - 4.1 基本ソフトウェア
 - 4.2 必須ソフトウェア
 - 4.3 排他ソフトウェア
5. ハードウェア環境

- 6. 資源
 - 6.1 静的ディスク容量
 - 6.2 動的ディスク容量
 - 6.3 メモリ使用量
 - 6.4 スワップ使用量
- 7. 制限事項
 - 7.1 Job Designerのインストール先について
 - 7.2 クライアントをマルチディスプレイ環境で利用する場合の制限事項
 - 7.3 Webコンソールの制限事項
- 8. 移行上の注意
- 9. インストール手順
 - 9.1 インストール・アンインストール手順
 - 9.2 インストール・アンインストールに関する注意事項
 - 9.2.1 「プログラムの追加と削除」に表示されるサイズについて
- 付録A 謝辞、免責文、ライセンス文について
- 付録B プログラム修正情報について

1. 製品概要

1.1 Systemwalker Operation Managerとは

Systemwalkerとは、運用方針(ポリシー)をベースにシステム全体を管理し、優れた機能でインターネットビジネスをトータルに支える統合運用管理製品です。Systemwalker Operation Managerは、ネットワーク上(LAN/WAN)に分散された各サーバで動作する定型バッチ業務のスケジューリングや実行監視、操作、履歴管理をビジュアル化し、優れた操作環境で業務運用が実現できます。さらにキュー制御や優先度制御などのきめ細やかなジョブ制御を行うことができます。EE版は、SE版の機能を包含し、さらに大規模な業務運用と業務に対する高信頼性を実現できます。

1.2 サーバ機能とは

サーバ機能は、Linuxで動作し、定型バッチ業務の自動実行、ジョブ実行環境の制御、ジョブ実行時の負荷分散、ネットワーク接続サーバでのジョブ実行を行います。

1.3 クライアント機能とは

クライアント機能は、Windows(R) 10 およびWindows(R) 11 上で動作し、PC/AT互換機からSystemwalker Operation Managerサーバに接続し、専用のGUIからジョブネットの登録、変更、監視、操作などを行うことができます。

1.4 本ソフトウェアについて

本ソフトウェアは、製品体験版です。

【試用期間について】

製品体験版の試用期間は、90 日間です。

サーバ機能において、インストール後初めてSystemwalker Operation Managerのデーモン起動をおこなった日から90 日間を試用期間とします。

試用期間90 日経過後の次の起動処理※時に、ジョブスケジューラデーモンとジョブ実行制御デーモンの起動が抑止されます。

引き続き使用する場合は製品を購入してください。

※Systemwalker Operation Managerのデーモン起動処理は、インストール後に以下のいずれかを実行した場合に行われます。

- OSを起動
- soperationmgrコマンドを実行
- 環境設定クライアントから起動
- デーモン起動スクリプトを実行
- 再インストールを行った場合のインストール直後のデーモン起動

2. 構成プログラム

2.1 製品構成

Systemwalker Operation Manager メディアパックの構成について以下に示します。

メディア名称

Systemwalker Operation Manager Standard Edition メディアパック (64bit) V17.0.1
体験版

媒体構成 格納ディレクトリ 格納データ概要説明

<ルートディレクトリ>

```
|
|---<Client>
|   |---<citool>
|   |---<tool>
|       |---<jobdesigner>      Job Designerインストーラ
|       |---<sscmd>          導入支援コマンド
|       |---<swcolinf>       保守情報収集ツールコマンド
|       |---<win32>
|           |---<autorun>
|           |---<CIR>
|           |---<FJQSS>
|           |---<help>        ヘルプファイル格納ディレクトリ
|           |---<msiexec>
|           |---<netfx20>
|           |---<omgrcir>
|           |---<setupinfo>
|           |---<vcredist>
|
|---<Fjqss_Manual>
|
|---<Linux>
|   |---<RHEL7>
|       |---<citool>
|       |---<tool_unx>
|       |---<unx>
|   |---<RHEL8>
|       |---<citool>
|       |---<tool_unx>
|       |---<unx>
|   |---<tool_unx>
```


					- Solution Template
10	FJSVjmweb	V17.0.1	V17.0.1	V17.0.1	Operation Manager Web Console
11	FJSVjmman	V17.0.1	V17.0.1	V17.0.1	Operation Manager Web Manual
12	FJSVqstl	1.0.4	1.0.4	1.0.4	FJQSS (Information Collection Tool)

3. 適用マニュアル

3.1 オンラインマニュアル

以下のマニュアルを提供しています。

以下のマニュアルは、製品メディアに格納されています。初期画面から参照するか、製品メディアを直接参照、またはお使いのPC端末にコピーして参照してください。

コピーした場合、manualフォルダ配下のフォルダ構成やファイル名などを変更しないでください。変更すると、マニュアルの表示やPDFマニュアルの検索が正しく動作しません。

製品マニュアル

Systemwalker Operation Manager	マニュアル体系と読み方
Systemwalker Operation Manager	リリース情報
Systemwalker Operation Manager	入門ガイド
Systemwalker Operation Manager	解説書
Systemwalker Operation Manager	活用ガイド
Systemwalker Operation Manager	導入ガイド
Systemwalker Operation Manager	設計ガイド
Systemwalker Operation Manager	運用ガイド
Systemwalker Operation Manager	移行ガイド
Systemwalker Operation Manager	リファレンス集
Systemwalker Operation Manager	メッセージ集
Systemwalker Operation Manager	用語集
Systemwalker Operation Manager	トラブルシューティングガイド
Systemwalker Operation Manager	Q & A 集
Systemwalker Operation Manager	マスタスケジュール管理 ユーザーズガイド *1
Systemwalker Operation Manager	Webコンソール操作ガイド
Systemwalker Operation Manager	Job Designer ユーザーズガイド
Systemwalker Operation Manager	クラスタ適用ガイド Windows編 *1
Systemwalker Operation Manager	クラスタ適用ガイド UNIX編 *1
Systemwalker Operation Manager	Global Enterprise Edition ユーザーズガイド *1

*1：本ソフトウェアでは使用しません。

3.1.1 マニュアルの参照方法

■初期画面から参照する場合

1. 製品メディアをPC端末のドライブ装置にセットしてください。

2. 自動的に初期画面が表示されます。
3. 初期画面の“マニュアル” – “オンラインマニュアル” をクリックしてください。
4. Webブラウザが開き、マニュアル一覧が表示されます。
5. 該当するマニュアルの表題をクリックして参照してください。

■製品メディアを直接参照する場合

1. 製品メディアをPC端末のドライブ装置にセットしてください。
2. 以下のファイルを開いてください。
[ドライブ]:¥Manual¥jpn¥manual¥cover.html
3. Webブラウザが開き、マニュアル一覧が表示されます。
4. 該当するマニュアルの表題をクリックして参照してください。

3.1.2 PDFマニュアルの横断検索方法

1. Adobe (R) Acrobat (R) Reader (R) から、PDFマニュアルと同じフォルダに格納されている「search.pdx」を開きます。
ドライブへの読み取りアクセスを許可するかどうかのメッセージが表示された場合は、[許可] ボタンをクリックします。
2. 表示されたAdobe (R) Acrobat (R) Reader (R) の[検索]パネルで、検索する場所に [インデックス search.pdx内]が指定されていることを確認し、テキストボックスに検索する語句を指定します。
3. [検索]ボタンをクリックします。

3.1.3 参照する際の注意事項

PDFマニュアルの参照および検索には、Adobe (R) Acrobat (R) Reader (R) が必要です。
HTMLマニュアルの参照には、以下の動作確認済のブラウザをご利用ください。

- ・ Internet Explorer 11
- ・ Microsoft Edge (Chromium ベース)
- ・ Google Chrome

3.2 ソフトウェア技術情報ホームページについて

ソフトウェア技術情報ホームページでは、最新のマニュアルやSystemwalkerの応用方法などを公開しています。

最初にソフトウェア技術情報ホームページを参照することをお勧めします。

ソフトウェア技術情報 URL :

<https://www.fujitsu.com/jp/software/technical/>

4. ソフトウェア環境

本ソフトウェアを使用する場合には、以下のソフトウェア環境を満たしている必要があります。

動作環境の情報については、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“動作環境”もあわせて参照してください。

4.1 基本ソフトウェア

サーバ機能は、以下の基本ソフトウェアで動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

クライアント機能は、以下の基本ソフトウェアで動作します。

- Windows (R) 11 Home (x64)
- Windows (R) 11 Pro (x64)
- Windows (R) 11 Enterprise (x64)
- Windows (R) 10 Home (x64)
- Windows (R) 10 Pro (x64)
- Windows (R) 10 Enterprise (x64)

4.2 必須ソフトウェア

本製品の使用機能により必要なソフトウェアがあります。詳細は、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“必須ソフトウェア”を参照してください。

4.3 排他ソフトウェア

本製品と共存できないソフトウェアがあります。詳細は、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“共存できないソフトウェア”を参照してください。

5. ハードウェア環境

本製品の使用機能により必要なハードウェアがあります。詳細は、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“ハードウェア資源”を参照してください。

6. 資源

6.1 静的ディスク容量

Systemwalker Operation Managerを導入するために必要な静的ディスク容量については、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“ハードウェア資源”を参照してください。

6.2 動的ディスク容量

Systemwalker Operation Managerの運用形態に応じた動的ディスク容量については、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“ハードウェア資源”を参照してください。

6.3 メモリ使用量

Systemwalker Operation Managerを運用するために必要なメモリ使用量については、“Systemwalker Operation Manager 解説書”の“ハードウェア資源”を参照してください。

6.4 スワップ使用量

本ソフトウェアを以下の運用で動作させるときに必要なスワップ容量を示します。システム提供のスワップ領域を超える場合は、スワップ領域を拡張してください。

項番	サーバ	運用内容
----	-----	------

1	255MB以上	クライアントにおいて、操作画面を起動した状態で、ジョブを実行する。
---	---------	-----------------------------------

7. 制限事項

7.1 Job Designerのインストール先について

[インストール先のフォルダ]の初期値は、以下のフォルダになります。

C:\¥Job Designer

別のフォルダへインストールする場合は、システムフォルダ(¥Program Files)を指定しないでください。

7.2 クライアントをマルチディスプレイ環境で利用する場合の制限事項

メイン ディスプレイ以外のディスプレイは、メイン ディスプレイの右側または下側に配置して利用してください。

7.3 Webコンソールの制限事項

インストール時に環境変数JAVA_HOMEが設定されていると、Webコンソールのセットアップに失敗します。

環境変数JAVA_HOMEが設定されていない状態でインストールを実施してください。

8. 移行上の注意

“Systemwalker Operation Manager 移行ガイド” および “Systemwalker Operation Manager リリース情報” の “互換に関する情報” を参照してください。

9. インストール手順

9.1 インストール・アンインストール手順

本ソフトウェアのインストール手順およびアンインストール手順については、“Systemwalker Operation Manager 導入ガイド” を参照してください。

9.2 インストール・アンインストールに関する注意事項

9.2.1 「プログラムの追加と削除」に表示されるサイズについて

サイズに表示される容量が実際より大きくなる場合がありますが、製品やOSの異常ではありません。また、製品動作には影響がありません。

付録A 謝辞、免責文、ライセンス文について

本ソフトウェアに関わる謝辞、免責文およびライセンス文については、“Systemwalker Operation Manager 謝辞、免責文、ライセンス文” を参照してください。

付録B プログラム修正情報について

本バージョンレベルでプログラム修正を行った障害について、プログラム修正情報を提供しています。マニュアル一覧の“プログラム修正一覧”を参照してください。

- 以上 -